

1.応募の動機・理由を簡単に記入ください。

熊本地震をきっかけに、住まいの安全をより実践的に取り組む授業を実施することとした。授業及び教材開発にあたり、生徒が興味を持って取り組むための工夫を準備するために助成を受けられることは、ありがたい。さらに、この授業の実践報告をすることで、住教育を広めるお手伝いができることも応募の動機である。

2.学習予定の概要を以下の3点について記入してください。

(A 中心となる活動, B 授業の狙いと特徴, C 学習の流れ (指導計画))

A 中心となる活動

- ・災害時の家族との連絡手段を確認する。
- ・非常持ち出し袋の中身を用意する。
- ・地震などの災害に備える住まい方の工夫を考える。

B 授業の狙いと特徴

身近な問題から、生活するための知恵や工夫として生きる力をはぐくむ授業を展開する。自分でできる災害の備えとして体験的に学び、安全な住まい方を考える。体験的な活動をすることで興味と意欲を引きだし、自分の家での災害への備えにつなげたい。

C 学習の流れ (指導計画)

- 導入
- ・前回の授業の復讐 (関東大震災、阪神淡路大震災、東日本大震災)
 - ・震災後の防災意識と安全対策を思い出す。「区画整理、自動で元栓が閉まるガスのシステム、蛇口の開発など」
- 展開
- ・災害時の連絡手段や避難場所の確認など、家族で話し合ったことを発表する。
 - ・非常持ち出し袋の中に何を入れたいかを考える。
 - ・非常持ち出し袋の中に入れるものは、どのように災害時に活用できるかを知る。生徒の発問を大事にしながら、非常時の工夫に対する興味を広げていく。
 - ・実際に非常持ち出し袋に、必要だと思われるものを入れてみる。
 - ・非常持ち出し袋の保管場所と地震などの災害に備える住まい方の工夫を考える。
- まとめ
- ・ワークシートの内容と感想を発表する。

3.今までに住まいやまちに関する学習を行ったことがありますか。

- 1 ある 2 ない

1の方は学習の内容について、ガイドラインの該当する領域に○をつけてください (複数可)

- 1 人と住まい
- 2 住まいの空間と構成
- 3 住まいと社会
- 4 住まいと環境

その他特記事項がありましたらお書きください

全学年で行いたいと考えているが、1年で実施する。応募申請書の実施予定時期を変更した。今後も時期、学年等変更の可能性はある。